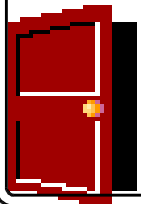


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和5年2月22日 第56号 文責 渡邊

「生命の教育」を終えて！

2月20日（月）に、校長は6年生を対象に、「生命の教育」を行いました。素直な子供たちの反応をととても嬉しく思いました。

子供たちから授業についての感想をいただいたので、紹介します。



【授業の様子】

命の大切さがわかった。いつも一人ではなくて友達や誰かといると相談や一緒に考えることができるので、友達がいる思い出のある人生が送れると思った。校長先生ぼくたちのことを思って授業をやってくれてありがとうございます。

生命がどれだけ大切なのかが分かった。たくさんの人に「ありがとう」と言って、これから過ごしたい。これからも生命は大切なのだと思います。

命って大切だなと改めて思いました。最後に先生が「いろんな人に頼っていい。そして、自分も頼られるような人になって欲しい」という言葉に感動したし、大切なことだなと思いました。私はこれから、人に頼られる人になりたいです。そして、相手を思いやる心も大切にしたいと思いました。

命はとても大切だと思った。なぜなら自分が生まれてきたことが奇跡で、それをつないでいくからすごく大切だと思った。これからどんどん大人になっていくけれど、今日の授業を忘れないようにしたい。とても大切な授業だった。ありがとうございました。「いのちの歌」のように、これまでたくさんの人のお世話になってきた。その人たちに「ありがとう」をたくさん伝えたい。

この授業を受けて、命は一つしかないものすごく大切なものであることを改めて思いました。また、自分の名前には込められた意味があって、家族も友達もいて、私はこの世界に生まれてきて本当によかったです。そして、家族や友達、一つしかない命を大切に、感謝の心をもって悔いのないように1日1日を生活していきたいです。

名前には親の思いがすごく入っていることが分かった。自分に付けられた名前の意味を考えると、こんなにすてきな名前をつけてくれて「ありがとう」と思ったし、自分もやがて親になったときにすてきな名前をつけてあげたいと思った。

コロナの短歌は、「母は家族にめいわくになるからという思いで来なくていいよ」と言った。けれど私は迷惑だとは思わない。一緒に寄り添ってあげたいと思った。とても感動した。

今回、とても幸せな時間を6年生と過ごすことができました。
「ありがとう6年生！」卒業までの日々を共に大切に過ごしていきましょうね！